

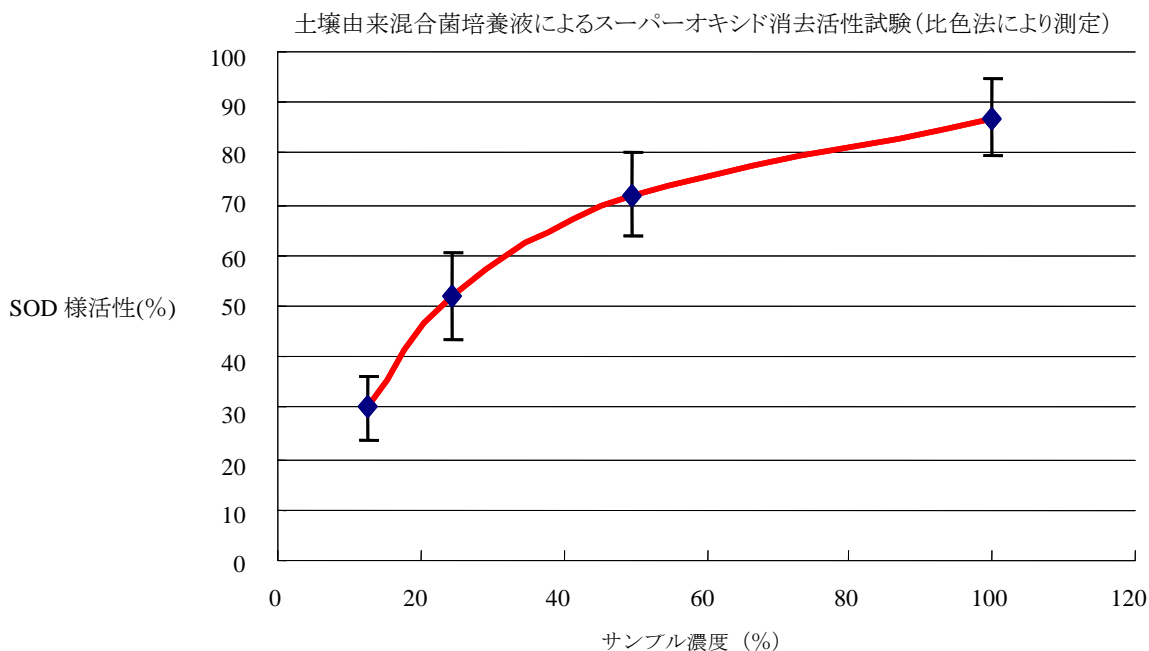
SOD 様作用試験

<試験方法と内容>

SOD（スーパーオキシドジスムターゼ）は、活性酸素(*)の一つであるスーパーオキシドを消去する酵素である。土壌由来混合菌培養液における、SODと同様なスーパーオキシド消去活性作用について調査するため、比色法を用いてスーパーオキシドの消去率を測定した。

<結果>

土壌由来混合菌培養液は、濃度依存的に SOD 様活性（活性酸素除去能）を高めることが確認された。原液を用いた際には 87.15%、50%の濃度に希釈した場合でも 71.92%という SOD 様作用を示した。



S 製薬会社による分析結果

(*)活性酸素とは

活性酸素は生命を維持するために無くてはならないものである。しかしすべての活性酸素が生命の維持に使用されるわけではなく、余った活性酸素は細胞に損傷を与えるといわれている。すなわち細胞内の酵素で分解しきれない余分な活性酸素は、癌や生活習慣病、老化等、さまざまな病気の原因となるといわれている。

活性酸素による細胞への損傷を防ぐために、各組織には抗酸化酵素と呼ばれる活性酸素を消去あるいは除去する酵素が存在する。SOD（スーパーオキシドジスムターゼ）はその一つである。